

ふらっぶ通信

第10号

社会福祉法人
なつか学園
サークルセンター
ふらっぶ

「ある日の出来事」

滝沢 一人

栗・松茸・ぶどう・我が家の食卓には関係のない秋の味覚たちが、市場を賑わしていると聞きます。平素は、当事業所の運営にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。インフルエンザのパンデミック再来が危惧される季節ですが健康管理には皆さまくれぐれもお気をつけ下さい。

さて先日、駅前ですものようにポーツとしていると、学生風の車椅子の青年が友達と思しき青年と歩いていました。彼は電動車椅子を利用しており、友達と並んで軽快に進んでいました。信号の手前で何かにつまづいて行き詰まっしてしまいました。つまづいた相手は視覚障害者用の点字ブロックだったようです。そこで突然彼は大きな声で

“こんなところに邪魔なものを置きやがって！”とお怒りになつていました。先に進んでいた友達（健常者）も駆け寄り、なんとたらかんたら同調している様子でした。道全体に点字ブロックが引きつめられているわけじゃないのに、大げさな奴！ちよつと避けてまたぎゃーいいのに・・・とオジサンは思いましたが気が弱いので黙って見ていました。なんか自分のことしか考えない、利己的な奴やなーてのが素朴な感想でした。そしてふつと考えて、こんなことってあちこちであるんだなーと思いました。バリアフリーの街づくりを語るとき、障害者にとつて生きやすい環境は健常者にとつても生きやすいというのがキャッチフレーズのように使われます。確かにそうなんですが、障害当事者の目線で見ると

必ずしもそうではないというのを耳にします。視覚障害の方にとつて、道路と歩道を分けるわずか2センチの段差が命を守っているという事実（自分の足で歩道と車道を感じられるということ）と、その段差のため一人では歩道へ上がれず電動モーターをインホイール鳴らして困つてる下肢障害の方、バリアフリーも色々な方向からの意見を聞かないと一方的なものになります。

身体障害の方が自らのことをアピールされることは多々あることかもしれませぬ。それが難しい場合のあたる知的障害の方などは、家族や関係者が要求もします。しかし、自分とは異なる条件の人のことも考えながら、自らの必要度を要求するといふのはとても難しい事かも知れませぬ。思いやりや創造力が必要です。当り前のことですが、自らの利益のみを考えるだけでは決して共生の環境は生まれてこないんだと思います。じゃ、何が必要か？思いやりや創造力にはまず、相手を知ることが必要なんですね。私たちの事業所でも、視覚障害の方、身体障害の方、知的障害の方、精神障害の方、子供さん、青年期、壮年期様々な方々とお付き合ひがあります。我々は支援者として、今までよりも多種多様な方々とお付き合ひをさせていただくようになりなりました。その中で私自身知らなかった事、気付かなかったこと、目からうろこのことが沢山ありました。自立支援法以降、日中施設サービスでも障害種別を基本的には設けないことになっていきます。しかし現状はそうはなつておらず、障害当事者の方々は未だに縦割りの人間関係の中に多く居られて、他の障害の方たちの抱える問題と向き合う時間は限りなく少ないと感じます。

日本の障害者施策は、身体障害者福祉法に始まり障害種別ごとに構築されてきました。北海道美瑛のパッチワークはきれいなことこ

の上ありませんが、そんなパッチワーク的法整備を繰り返してきた感があります。もともと法律ごとに「障害者」と呼ばれる（法の対象となる）人の定義が異なり、そして、「障害」の程度や原因、内容によつて、受けられるサービスが異なるわけですから、なかなか融合の場が無い。社会に對して、あるいは一般の人たちに障害者の問題を包み込む環境をと訴えるのは、もちろんですが、当事者自身の連帯こそ、もっとと図られ、大きな動きになつていかなあかん。それが大きなうねりになつて、パワーになり、世の中を変えて行くメッセージになつてくれないであらん。出来たと考えさせられた。

日本国内のニュース。今回は大阪と政治をピックアップしました

民主・社・国、連立政権へ

「民主・社・国、連立合意。自立支援法廃止は必至 障害者団体が要望開始」
 民主、社民、国民新の3党は9月9日、連立政権樹立で合意した。合意文書は10項目の柱の一つに「社会保障の充実」を盛り込み、障害者自立支援法の廃止も明記。サービスを利用する障害者に原則1割の負担を課す「応益負担」の見直しは必至で、自立支援法に代わる新法の制定、国連の障害者権利条約批准に向けた国内法の整備などの議論が急速に進む見通し。民主党は障害者の意見を政策に反映するための協議機関を内閣に新設する構想を打ち出していることから、障害者団体は相次いで要望活動を始めた。

大阪障害フォーラムが発足

「権利条約批准へ 地域からうねり種別越えて30団体結束」
 種別越えて30団体結束 障害者権利条約の批准と国内法整備や、条約を踏まえた障害者差別禁止条例の制定に向けた論議を進めようと、大阪府内の障害関係30団体が大阪障害フォーラム（ODF）を9月15日に結成した。主に中央で政府・国会への働きかけを行っている日本障害フォーラム（JDF）に対してODFは、その大阪版とも言えるもの。地元を舞台に、行政への働きかけのみならず、条約の内容を一般市民に分かりやすく知らせるためのタウンミーティング開催にも力を入れる。
 引用：「www.fukushishimbun.co.jp」より

「京都市重度障害者入院時コミュニケーション支援員派遣事業」

「京都市重度障害者緊急時介護人派遣事業」について

今まで認められていなかった「入院時ヘルパー派遣」「緊急時介護人派遣」について、京都市は平成21年10月1日独自の制度を制定しました。

前者の事業を「京都市重度障害者入院時コミュニケーション支援員派遣事業」といい、入院中の病室において、本人の障害特性を十分に理解している支援員（ヘルパー等）が、本人と医療スタッフとの間のコミュニケーション支援や見守りを行うといったものです。

後者の事業を「京都市重度障害者緊急時介護人派遣事業」といい、突然ヘルパーによる介護が必要になり、障害者自立支援法の利用手順ができるまでの間等に、介護人（ヘルパー等）から必要な在宅生活支援が行われる事業です。

本来は国レベルで行うべき事業ではないかという指摘も少なくともありませんが、対象利用者や利用時間などに縛りはあるものの、京都市にとっても初の試みとなるこの事業は周囲にも大きな影響を与えるのではないかと注目されています。

問い合わせ

京都市保健福祉局・保健福祉部・障害保険福祉課

TEL：075-222-4161 FAX：075-251-2940

いも!大量!!

秋といえば、食欲の秋!ともよく言われますね
 そんな中、10月某日、毎年恒例「芋掘り」を行いました。
 今年も皆さんのたくさんの笑顔と共に、美味しそうなお芋がたくさん採れました。
 焼き芋に...スイートポテトに...煮物に...どんな料理になった
 のでしょう。どれも美味しそうです。自分で掘り当てたお芋を頂
 くというのは、また格別であったように思います。まだまだ秋は
 終わりません。 皆さん、この秋を満喫してくださいね!



そうなんだー!

ふらっぶ職員のこんなこと

へえ!

その他の部分で、月ごとに取り組んでいる仕事をピック
 アップしてみました。研修・意見交換会などを主に記しました。

9月

12日：ふらっぶ全
 体ヘルパー会議(てん
 かんについて)

2日・3日：中川・
 岡崎「相談支援従事者
 研修3日目」

7日：中川「相談支
 援従事者研修4日目」

10月
 7日・8日：中川
 「相談支援従事者研修
 5・6日目」

14日：ふらっぶ居
 宅ヘルパー会議(入浴
 支援について)

某日：次ページに
 挙げました、どんぐり
 企画の「芋掘り」

この他にも、毎月法
 人全体の管理者会議や

理事会
 など
 定例で
 行われ
 ています

すて行定な
いわ例ど
まれでが

プレイルーム情報

ふらっぶ2階のプ
 レイルームにボ
 ールプールがや
 ってきました
 皆で楽し
 く遊びま
 しょう



中川さん研修報告

八月二十日(木)〜十月八日(木)の内、計6日
 間、相談支援従事者初任者研修に参加しました。
 初回が総選挙前だったので法律に関することはど
 うなるか分からないという感じで会場にいる全員
 が戸惑っている様子がありました。相談支援
 事業とは、障害のある方の生活全般についての相
 談に応じ、福祉サービスの利用方法などのサポ
 ートを行うものです。研修の中で「その人らしさ」
 の話になったことがありました。自分らしさ...考
 えてみるとぱっと出てこないですね。みなさんの
 「自分らしさ」はどんなですか?みなさんの周り
 の方はどんなですか?今一度目を向けてみてくだ
 さい。一番大切なところだと思えます!

祝 Happy Wedding! 寿

祝 Happy Wedding! 寿

祝 Happy Wedding! 寿

こんにちは。十一月初旬、わたくし
 佐藤朱は結婚し、名前を改め
 まして「篠原(しのはら)朱」
 となりました。みなさん
 はもちろんのこと、自分
 自身名前が変わったこと
 に慣れるまでに当分時間
 がかかりそうです。
 しかし、みなさんとの関
 わりはこれまでと何一つ
 変わりませんので、今後
 とも変わらぬご愛顧をよ
 りしくお願いします。
 篠原 朱

ふらっぶ職員に聞きました！

あなたにとって、「空っぽ」とはどのような時ですか？

ある日ある職員が、事務所でポツリ言いました。「最近からっぽになってないなー」。その時に居合わせた職員で自分の「空っぽになる時」を話をしました。すると人それぞれ、“からっぽ”という言葉のイメージが全然違うことがわかりました。何かに夢中になる？・何かがなくなる？みなさんにとって「からっぽ」になる時はどんな時ですか？ふらっぶの職員に「からっぽ」になる時を聞いてみました！

私が空っぽになる時は、実家に帰って、縁側でぼーっとしている時です。日差しがいい具合に入ってくる夕方、のんびりしてたら夜ご飯出来たでー！と母親に呼ばれる事が幸せです。最近縁側にマッサージチェアも置いたので尚更離れられない場所ですね。霞末

私たちの脳は常に働いていて、寝ているときさえも夢をみて、何かを感じたりしている。

空っぽ＝無になる事なんて出来るのか
昔、座禅体験をしたときのこと。こ
ういつ時は、今日の昼ご飯何食べよう
かなあ〜とか考えてはならぬ！雑念を
捨てねば！無になれ、無になれ……。
ほんの一時だけでも無になれたこと
としよう。目を開けたとき、なんと
く、すっきりした気分が爽やかですが
すがしい…目まぐるしい情報の毎日。
脳は常に働きっぱなし。生きてる限り
は完全に休まることは不可能であるが、
時々ちよつと脳や心に休息を。気分新
たに頑張れるかもしれません。 篠原

私にとって空っぽとは「ああ終わっ
てしまった…」という空虚な感じ。
なにかをやり切ってしまった後に、
達成感の傍らに「ああ空っぽ…」と
感じます。今まで頑張ってきた部活
を引退した数日後、なにをするでも
なく家でぼーっとしている時、丁
度「空っぽ」でしたねえ。 藤本

「からっぽ＝無の状態」
だと考えると実際からっ
ぽになることは難しく、
いつも何かつまらないこ
とを考えては悩み、答え
を出そうとしているのだ

と思います。もし心にいくつもポケット
があるのなら、ひとつだけ空っぽに出来
る気がします。どうしても、もやもやが
ある時は、他のポケットで物を考え、も
やもやの部分からっぽ状態にして癒され
る…しかし結局心の容積を他のポケッ
トで埋めているので、空っぽの状況など、
やはり程遠い世界で憧れなのかもしれま
せん。 元古幸子

ひとりですら長い距離を歩いた
りチャリをこいだりして
るとき一時ぼけ〜とすると
きがあつて、そんな時自分
の心の中を意識すると「な
んにもないなあ」となるの
ですが、でもそんなからっ
ぽ感を感じるのには、からっ
ぽで埋め尽くされてる感じ
がしてきて、またすぐからっ
ぽではないのかもしれないと
思ったりします。 中川

私がからっぽになる時は他の職員から「またか」といわれそうですが故郷のだんじり祭りが終わりを迎える瞬間、だんじりを小屋の中にしまい、太鼓などの祭囃子が止まった時です。祭りが無事終わったという達成感や満足感が毎年なんともいえないです。武野

釣りをしている時、魚が針に食い付きトントンという感触が竿を通じて伝わってから、しっかり掛かったと確信する迄の数秒間、頭の中が「空っぽ」になつていて感じます。その時は過去の煩惱、現在、未来の不安なんかが一瞬ですが全てが無くなります。山口

空っぽで思い出するのが“禅”。大学で物まねのような座禅をくんでいたことがありました。というか、必要な単位獲得のため早朝より畳に座らされていたのが正解なんです。その時、和尚さんは色々な音が入ってくるけど、“自然に入ってくるのを止めるな！”それでいて“それらを追いかけるな！”と言われました。私の頭では理解不能でしたが、その時の座禅もどきで、集中できると沢山のうるさい音を聞き分け、蛍光灯のジーって音が微かに聞こえたのは覚えてます。私が思う空っぽ状態とは、リラックスしながらも、高度に集中している状態。脳科学的にいうと・・・左脳に雑念が無く、右脳的な刺激感覚が研ぎ澄まされた状態。俗にいうクライマーズハイとかプロスポーツ選手にみられるzone体験とか(カッコ良すぎますね)・・・簡単にいえば無我夢中。少ない経験ですが過去にこんなことが僅かにありました。自分の動作や周りの動きが非常にゆっくりに見え、時間が止まっているような錯覚をおぼえる。精神は高揚しながらも驚くほど冷静になり、淡々とした確実な行動がとれる。身の丈に合わない、厳しい山登りのルートの途中で、経験したこんな不思議体験が私の中の最高の空っぽ状態でした。空っぽになるにはある意味命をかけなきゃならないところに我が身の小ささを思い知らされます・・・。滝沢

さて、私にとつて『からっぽになる時』とは、何もする事がない時です。すかね。例えば、仕事がない！なんて時や、調子が悪くて何も手につかない！なんて時。元気がぐーんと、残量0になつてしまひそうです。皆さんと過ごす時間の中で、いつもたくさんの元気を頂いています。それは、皆さんとの会話の中でだったり、皆さんの笑顔ひとつだったり。私も、皆さんに笑顔で過ごして頂けるよう、頑張つて参ります。皆さんと過ごす初めての冬が、今の楽しみです。皆さんと一緒に過ごさず中で、季節が変わっていくのを、いつも嬉しく思っています。

石中

私は「からっぽ」何か満たされていない」とイメーヂしてしまいます。何か心が満たされていないといつか、落ち込んでしまつて「私って一人。」と思うときですかね。心に穴が開くような。でも実はそう感じるときこそ空っぽではないんだなとまた気付く瞬間でもありません。何か一つが欠けても他のことで心はまた満たされるんですよ。あとは空腹のときに感じます。「胃が空っぽだ！」と。結局頭は食に走り・・・(笑)秋です

岡崎

